

(2) 水田畦畔

ア 水田畦畔における除草の考え方 農薬登録情報【水田畦畔】・【水稻（水田畦畔）】

(ア) イネにかかると薬害が出るおそれがあるので、専用ノズルを使用し、風の無い日に行う。

(イ) 長期間の雑草抑制を狙うためには、刈払機による草刈り後、バスタ液剤、グラスショート液剤、ラウンドアップマックスロード液剤の散布、あるいはバスタ液剤又はザクサ液剤とカーメックス顆粒水和剤又はダイロンゾルの同時処理が有効である。

除草剤名(一般名、%)	適用雑草	備考
バスタ液剤 (グルホシネート 18.5%)	一年生雑草、多年生雑草	1 水田作物（水田畦畔）での登録。 2 周囲の作物に散布しないよう飛散防止カバーをつけて散布する。 3 散布後6時間以内に多量の降雨があった場合は、効果が低下することがある。 4 効果発現まで2～5日かかる。 5 少量散布の場合には、専用ノズルを使用する。
タッチダウン i Q (グリホサートカリウム塩 44.7%)	一年生雑草	1 水田作物（水田畦畔）での登録。 2 好天時に散布する。
	多年生雑草	3 多年生雑草では散布後2週間は地上部の刈取りを行わない。
	スギナ	4 周囲の作物に散布しないよう飛散防止カバーをつけて散布する。 5 少量散布の場合には、専用ノズルを使用する。 6 展着剤を加える必要はない。
草枯らし M I C (グリホサートイソプロピルアミン塩 41%)	一年生雑草	1 水田作物（水田畦畔）での登録。
	多年生雑草	2 周囲の作物に散布しないよう飛散防止カバーをつけて散布する。 3 好天時に散布する。 4 多年生雑草では散布後2週間は地上部の刈取りを行わない。 5 少量散布は希釈水量に応じ専用のノズルを使用する。 6 展着剤を加える必要はない。
サンダーボルト 0 0 7 (グリホサートイソプロピルアミン塩 30%、ピラフルフェンエチル 0.16%)	一年生及び多年生雑草	1 水田作物（水田畦畔）での登録。
	一年生及び多年生雑草(草丈抑制による刈込軽減)	2 周囲の作物に散布しないよう飛散防止カバーをつけて散布する。 3 好天時に散布する。 4 多年生雑草では散布後2週間は地上部の刈取りを行わない。 5 少量散布は希釈水量に応じ専用のノズルを使用する。 6 展着剤を加える必要はない。
ラウンドアップマックスロード (グリホサートカリウム塩 48%)	一年生雑草	1 水田作物（水田畦畔）での登録。
	多年生雑草	2 周囲の作物に散布しないよう飛散防止カバーをつけて散布する。
	スギナ	3 好天時に散布する。
	一年生及び多年生雑草	4 多年生雑草では散布後2週間は地上部の刈取りを行わない。 5 少量散布は希釈水量に応じ専用のノズルを使用する。 6 展着剤を加える必要はない。
ザクサ液剤 (グリホシネート P ナトリウム塩 11.5%)	一年生雑草、多年生雑草	1 水田作物（水田畦畔）での登録。 2 周囲の作物に飛散しないよう飛散防止カバーをつけて散布する。 3 散布後1時間以内に降雨なければ効果に大きな影響はない。 4 効果発現まで2～5日かかる。
カーメックス顆粒水和剤 (DCMU 80%)	一年生雑草	1 水田作物（水田畦畔）での登録。 2 農作物（水稻）に接近して散布するので、散布液が飛散して農作物にかからないように十分注意する。 3 塗り畦に使用する場合、畦塗り直後で畦が濡れているときは、水田に流入して薬害を生じるおそれがあるので使用しない。 4 散布液が水田に流入するおそれがあるところでは使用しない。とくに透水性の大きな畦畔、砂質土では完全に除草すると、畦が崩れ散布液が水田に流入し、水稻に薬害を生じるおそれがある。 5 翌年に移動する畦、又は崩して水田にする畦には使用しない。 6 雑草発生揃期に使用する際は展着剤を加用する。

ダイロンゾル (DCMU 50.0%)	一年生雑草	1 水稲（水田畦畔）での登録。 2 激しい降雨の予想される場合は使用をさける。 3 雑草が枯れ残る場合もあるが、抑草効果は持続するので、追加散布や繰り返し散布をしない。 4 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
グラスショット液剤 (ビスピリバクナトリウム塩 3.0%)	一年生雑草、多年生雑草	1 水田作物（水田畦畔）での登録。 2 雑草の生育を一定期間抑制することにより、草刈り回数を軽減できる(抑草剤)。 3 展着剤は加用しない。 4 雑草の種類によっては効果が変動する。 5 ノシバに対しては選択性があるので、ノシバを被覆植物としている畦畔でも使用できる。
	イボクサ	6 畦畔から侵入してくる難防除雑草のクサネムに枯殺効果がある。 7 少量散布は、専用ノズルを使用する。 8 薬害が生じるおそれがあるので、水稲には直接かからないように散布する。 9 イグサ、レンコン、セリ、クワイ、豆科作物、ナス科作物、ウリ科作物、アブラナ科作物には薬害が強いため、周辺にこれらの作物がある場合は、飛散に十分注意する。
ロイヤント乳剤 (フロルピラウキシフェンベンジル 2.7%)	一年生及び多年生広葉雑草	1 水稲（水田畦畔）での登録。 2 土壤水分が少ないと効果が十分に発揮されないことがある。 3 薬害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意する。特に、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがある。